

## 第9章 厚生経済学と社会的選択 練習問題

1. 事実判断と価値判断，実証的分析と規範的分析について，それぞれの違いに着目しながら説明しなさい。
2. パレート最適を定義し，価値基準としての意義を説明しなさい。
3. 消費のパレート最適をエッジワースのボックスダイアグラムを用いて図示し，数式を用いて説明しなさい。
4. 消費の契約曲線が，効用可能性曲線として描けることを図解により説明しなさい。
5. 生産のパレート最適をエッジワースのボックスダイアグラムを用いて図示し，数式を用いて説明しなさい。
6. 生産の契約曲線，効率性軌跡が，生産可能性曲線として描けることを図解により説明しなさい。
7. 市場における総合的なパレート最適を，消費のボックスダイアグラムと生産可能性曲線を用いて図解し，数式も用いて説明しなさい。
8. 完全競争均衡が，消費のパレート最適条件，生産のパレート最適条件，総合的なパレート最適条件をすべて満たすという厚生経済学の基本定理を，数式を用いて証明しなさい。
9. 市場の失敗の2つの類型について，説明しなさい。
10. 公共財の消費と供給における2つの特徴を説明しなさい。
11. 私的財と公共財の2財の無差別曲線を図示し，それらを合成した無差別曲線を図示しなさい。そこでパレート最適になるためのサミュエルソンの条件を，図解と数式を用いて説明しなさい。
12. 公共財の費用分担率と最適供給量を決めるリンダール均衡を図解し，数式を用いて説明しなさい。これが受益者負担の原則に合致することも説明しなさい。

13. 私的便益と社会的便益，私的費用と社会的費用の区別を説明し，外部経済がある場合の均衡と，外部不経済がある場合の均衡を，図解しながら説明しなさい。
14. 外部効果を内部化する方法として，ピグウの課税・補助金政策と発生者負担原則について，説明しなさい。
15. 費用逡減産業では，政府が補助金政策をとるか公企業として経営するか，を迫られる理由を説明しなさい。
16. サミュエルソンの社会的厚生関数を数式で表し，効用フロンティアとともに図示しなさい。その接点で社会的な意思決定がされることを説明しなさい。
17. 民生費の増額，現状維持，減額の 3 つの選択肢について，投票のパラドックスが起こることを，図解しながら説明しなさい。